

平成 21 年 7 月 17 日

各 位

不動産投資信託証券発行者名

東京都港区六本木六丁目 10 番 1 号
六本木ヒルズ森タワー
ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人

代表者名 執行役員

鈴木 博之
(コード番号: 8981)

資産運用会社名

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社

代表者名 代表取締役

鈴木 博之

問合せ先 管理本部長

板橋 昇

TEL. 03-6439-0333

2009 年 6 月度の月次開示に関するお知らせ

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）の 2009 年 6 月度の月次総売上高並びに宿泊部門の客室稼働率、ADR 及び RevPAR を下記のとおりお知らせいたします。本投資法人は変動賃料の支払いを伴うホテルであって、ホテル賃借人である株式会社ホテルマネージメントジャパンから開示について同意をうけることができたホテルについて継続的に月次開示をいたします。

記

ホテル/項目		6 月度	対前年 同月増減 注 7)	(参考) 累計 注 8)	(参考) 対前年 累計増減 注 9)
神戸メリケンパーク オリエンタルホテル	稼働率	49.3%	-26.4%	68.6%	-8.2%
	ADR (円)	12,818	-1,109	15,495	313
	RevPAR (円)	6,323	-4,218	10,636	-1,036
	売上高 (百万円)	380	-156	5,010	-690
オリエンタルホテル 東京ベイ	稼働率	61.1%	-16.7%	81.8%	3.7%
	ADR (円)	15,263	-1,468	18,472	-652
	RevPAR (円)	9,332	-3,689	15,115	181
	売上高 (百万円)	408	-76	5,520	-38
なんばオリエンタルホテル	稼働率	53.3%	-28.1%	74.9%	-12.0%
	ADR (円)	9,097	-1,210	10,438	-103
	RevPAR (円)	4,853	-3,537	7,818	-1,338
	売上高 (百万円)	117	-35	1,477	-157
ホテル日航アリビラ	稼働率	77.0%	2.1%	74.5%	0.0%
	ADR (円)	21,032	-1,885	22,366	179
	RevPAR (円)	16,188	-968	16,672	127
	売上高 (百万円)	372	-22	3,925	-83
オリエンタルホテル広島 注 6)	稼働率	66.6%	4.3%	70.8%	10.7%
	ADR (円)	8,479	11	8,952	216
	RevPAR (円)	5,647	370	6,342	1,088
	売上高 (百万円)	174	1	1,813	158
上記 5 ホテル合計	売上高 (百万円)	1,452	-288	17,745	-810

6 月度の実績に関するジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社（資産運用会社）からのコメント：

神戸メリケンパークオリエンタルホテルについて

宿泊部門では、前月より引き続き新型インフルエンザの影響が大きく、マーケット全体における宿泊予約のキャンセル発生、予約ペースの著しい鈍化により、売上は前年同月を下回りました。レストラン部門では宿泊者数の減少に伴う朝食売上の減少と出控えによる全般的な来客数の減少により、前年同月の売上を下回りました。一般宴会では新型インフルエンザの影響による件数の減少、婚礼宴会では新規競合施設の影響による件数の減少が生じ、宴会部門での売上は前年同月を下回りました。結果として、ホテルの総売上は、前年同月を約156百万円下回りました。

オリエンタルホテル 東京ベイ（旧：新浦安オリエンタルホテル）について

宿泊部門では、TDR25周年イベントの終了に加え、新型インフルエンザの影響を受け、ADR、稼働率共に前年同月を下回り、結果として売上は前年同月を下回りました。レストラン部門では、宿泊客の減少に伴う朝食および夜食売上の減少により前年同月の売上を下回りました。宴会部門では、婚礼宴会は前年同月を上回ったものの、一般宴会は前年同月を下回りました。結果として、ホテルの総売上は、前年同月を約76百万円下回りました。

なんばオリエンタルホテルについて

宿泊部門では、円高を受けた韓国インバウンドの低迷に加え、新型インフルエンザの影響による関西への出張控え等により市場全体の需要が大きく減少し、前年同月の売上を下回りました。結果として、総売上は前年同月比で約35百万円下回りました。

ホテル日航アリビラについて

宿泊部門では、沖縄本島への入島者数が対前年比で引き続き下落する中で、追加のキャンペーン商品の販売により、前年同月に対して稼働率は上回ったものの、ADRの下げをカバーするには至らず、売上は前年同月を下回りました。料飲部門では、婚礼宴会及びレストランウェディングの減少により売上が前年同月を下回りました。結果として、ホテルの総売上は前年同月を約22百万円下回りました。

オリエンタルホテル広島について

宿泊部門では、マーケット全体の景況感が悪化する中、予約ソースの拡充及びネット販売を中心にしたセールス活動が奏功し、売上が前年同月を上回りました。料飲部門では新型インフルエンザの影響を受け、レストランは来館者数の減少、一般宴会は件数の減少が生じたものの、婚礼宴会は件数増、及び件単価増により、料飲部門での売上は前年同月を上回りました。結果として、ホテルの総売上は前年同月を約1百万円上回りました。

※ご参考

新型インフルエンザの影響について

国内での新型インフルエンザの発生により、宿泊、一般宴会、レストラン等の予約キャンセル（直接的影響）及び来館者数の減少（間接的影響）に伴う売上減が引き続き発生しております。尚、6月度における新型インフルエンザの影響のうち、予約キャンセル額（直接的影響）は、神戸メリケンパークオリエンタルホテルでは約42百万円、なんばオリエンタルホテルでは約5百万円、その他ホテル合計では約15百万円、5ホテル合計では約62百万円となっております。

注 1) 上記のコメントは運用会社が賃借人から提供を受けた情報に基づいて作成しており、あくまでおおむねの傾向についての参考情報として記載するものにすぎません。コメント中に記載された数値・情報については、監査等の手続を経ているものではなく、運用会社による独自の検証を行ないうる性質のものでもなく、個々の数字・内容の正確性・完全性について保証できるものではありませんのでご留意ください。

注 2) 各月の数字については監査等の手続を経ないため、各月を合計した金額は、後に提出する半期報告書、有価証券報告書に記載される6ヶ月間及び年間の売上合計と合わない場合があります。また、各月の売上についても、半期報告書、有価証券報告書に記載される各月の売上と相違する場合があります。

注 3) ADR：平均客室販売単価（Average Daily Rate）をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計（サービス料を除きます。）を同期間の販売客室数合計で除した値をいいます。

- 注 4) RevPAR : 販売可能客室数当たり宿泊部門売上 (Revenue Per Available Room)をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計を同期間の販売可能客室数合計で除したものをいい、ADRと客室稼働率の積にて計算される数値と同値となります。
- 注 5) 客室稼働率については小数点第2位を、ADR、RevPARについては小数点第1位を四捨五入して記載しています。売上高については、百万円未満を四捨五入して記載しています。
- 注 6) オリエンタルホテル広島については平成19年10月1日取得のため、対前年同月及び累計増減の算出基礎となる平成19年9月の数値は、未監査です。
- 注 7) 対前年同月増減とは当該月と前年同月との増減を記載しています。
- 注 8) 累計とは当期期首から当該月までの累計値を記載しています。
- 注 9) 対前年累計増減とは、当期期首から当該月までの累計値と前期期首から前年該当月までの累計値との増減を記載しています。

以上

* 本投資法人のホームページアドレス : <http://www.jhrth.com/>